



# 「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

## 【ごあいさつ】

伊川校区は、自分たちの福祉の課題は自分たちで解決していくという目的のもと、小地域福祉活動第一次計画を進めてまいりました。  
 しかしながら、更なる高齢化率の増加を含め様々な課題が残っています。  
 今一度、地域の課題を再確認し、地域主導による地域福祉活動を進めるために、第二次計画に取り組んでいきたいと思っております。今後とも、皆様のご協力をお願いいたします。

伊川校区社会福祉協議会 会長 進 森太郎

## 【みんなで考えました！】

校区社協や自治会の役員、民生委員児童委員協議会、市民サブセンター、福祉施設の代表者の方々と、これからの5年間のふくしのまちづくりについて、話し合いを行いました。  
 平成29年度から令和3年度の5年間の小地域福祉活動第一次計画に取り組んだ成果も踏まえ、令和4年度からの地域福祉活動も、第一次計画の基本目標・実施項目・特に力を入れて取り組む重点実施項目を継続していきます。

伊川校区社会福祉協議会  
 〒800-0101  
 門司区伊川 1462-1  
 伊川区民館  
 ☎093-481-1872

## 【地域の現状】

	令和3年3月(住民基本台帳より)			高齢化率
	世帯数	人口	65歳以上	
門司区	49,555	95,750	35,567	37.1%
大字伊川	449	815	431	<b>52.9%</b>

門司区で  
2番目の  
高齢化率!!

## 【地域課題とこれからの方向性】

伊川校区では平成11年よりふれあいネットワーク活動に取り組んでいます。校区の高齢化は、第一次計画策定時より進み、門司区の平均を大きく上回る52.9%に達し、一人暮らしの世帯が増加しています。また、コロナウイルス感染症拡大防止の影響から、住民の意識醸成や校区全体での研修や避難訓練等が一部中断しました。長期の外出控えから起因する閉じこもりによる孤立や体力低下等が課題となっています。  
 第二次計画を策定するにあたり、重点実施項目は第一次計画から引き続き、①災害時の福祉救援体制づくり、②高齢者の外出支援として取り組みます。災害時の福祉救援体制づくりは、よりきめ細かな支援ができるように町内単位で取り組みます。高齢者の外出支援は、社会福祉施設と連携し、外出支援を進めます。

基本目標1	基本目標2	基本目標3
福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう ～見守りのしくみの充実～	住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～	一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～
*健康講話 *歳末ふれあい昼食会 *サロンで体操 活活ライフ *敬老祝賀会 *市民センターだよりの発行 *花育会 *太極拳・GOGO 健康・卓球・ヨガ・ダンス・ゴルフ・カラオケ・書道・詩吟・将棋・囲碁等の自主活動	* <b>災害時の福祉救援体制づくり【重点】</b> *ふれあい運動会 *文化祭 *伊川フェスティバル *音楽の夕べ *エコツアー *盆踊り *ふれあいネットワーク活動（連絡調整会議）・研修会の開催 *海の玄関口クリーンアップ活動への参加 *町内毎の清掃活動 *小学校グラウンドの草刈り活動 *グラウンドゴルフ	* <b>高齢者の外出支援【重点】</b> *ふれあいネットワーク活動（見守り・助け合い） *安全パトロール *児童の通学路の見守り



【実施計画（重点実施項目）】

重点実施項目		災害時の福祉救援体制づくり							
1 課題背景及び現状									
高齢化率が52.9%になり、ひとり暮らし世帯も増加している背景と、コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、災害への意識づけや避難訓練等、住民に向けての研修や訓練等が中断されています。									
2 活動の方針・目標									
*行政機関と連携しながら、避難訓練や図上訓練、避難経路の確認等を町内毎に実施します。 *定例会を活用して危険箇所等の情報共有を行い、地域への周知を図ります。 *災害発生時は、地域のつながりを生かした支援を行います。									
3 段階的な取り組みの年次計画									
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考		
図上訓練（DIG）等の実施（町内毎に実施）	町内会長 民生委員 消防署等	→							
災害時要支援者の調査・把握		→						日頃のふれあいネットワーク活動を生かして実施	
緊急連絡網の作成（毎年更新）		→							
体制づくり・危険箇所・避難経路等の確認と周知		→						定例会の場を活用	
災害発生時の対応		→						町内と行政で個別対応	
避難訓練の実施（町内会毎）		→							

重点実施項目		高齢者の外出支援							
1 課題背景及び現状									
高齢化率やひとり暮らし世帯の増加を背景に、引きこもりによる孤立や体力低下等を予防し、高齢者の集いの場や外出支援が引き続き求められている。									
2 活動の方針・目標									
*既存サロンの継続と新規サロンを開設します。 *伊川コミュニティバスの継続運行をします。									
3 段階的な取り組みの年次計画									
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考		
伊川いきいきサロンの継続	校区社協 民生委員 町内会 まち協	→							
新規サロンの開設	校区社協	→							
伊川コミュニティバスの運行	門司障害者地域活動センター 校区社協 まち協・市民サブセンター	→							

《サロンの様子》



《伊川コミュニティバス》

